

平成26年度 学校運営の概要

1 学校教育目標

心豊かで創造力と実践力に富んだ子供の育成

思いやりのある子供 (徳)

進んで考える子供 (知)

強くたくましい子供 (体)

2 重点目標

よく学び 汗をかき 思いやりの花を咲かせよう

3 学校運営の方針

① 安全・安心な学校運営

- ・ 全教職員がチームとなり、安全安心の確保に努める。
- ・ 安全第一に努め、環境美化と整理整頓を行う。

② 確かな学力の育成

- ・ 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着を図る。
- ・ 児童の実態を踏まえ、ねらいを明確にした授業展開を工夫する。
- ・ 言語活動の充実を図り、学力向上と人間関係づくりを一体化させた授業を推進する。

③ いのちの教育を核とした豊かな心の育成

- ・ 思いやりの心の育成、認め励まし合う機会の充実、心の居場所づくりに努める。
- ・ いじめの未然防止と早期対応に努める。
- ・ 心の触れ合いを深めるボランティア活動を推進する。
- ・ いのちを守るための知恵の習得と態度の育成に努める。

④ 健康の増進に努め、明るく元気な挨拶と活発な活動

- ・ 運動機会の充実を図り、元気っ子育成計画に基づく体力の向上と健康の保持増進に努める。
- ・ 家庭と連携し、「早寝、早起き、朝ご飯」「挨拶」等、望ましい生活習慣を育成する。

⑤ 学校と家庭・地域社会との連携

- ・ 地域の方々と連携し、地域に学び、地域に発信する学習の充実を図る。

⑥ 一人一人の教育的ニーズに合った指導と共に生きる心の育成

- ・ 校内委員会を充実させ、一人一人の実態に応じた指導と支援に努める。
- ・ 特別支援教育に全校体制で取り組むとともに、関係機関との連携を図る。

4 今年度のアクションプラン目標

「大きな声で自分からあいさつをする」

「家庭学習習慣の定着を図る 10分×学年行う」

5 研修主題

他と関わりながら、確かな学力を身に付ける児童の育成

【視点1】

学びを確かなものにする単元構想の工夫

【視点2】

基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図るための学習指導の工夫

【視点3】

学びを支えるよりよい人間関係づくり

6 生徒指導の重点

① 児童一人一人のよさを伸ばすことで、自己肯定感や自己有用感を育み、自らを肯定的に受け止め、自己指導能力を発揮できるように支援する。

② 児童の自発的な活動を促し、基本的生活習慣の定着と社会性の育成に努める。

③ 計画的に安全指導を推進し、児童の安全意識を高める。